

平成27年度 第1回加西市立図書館協議会 議事録

日 時 平成27年9月28日（月） 16:00～17:30

場 所 アスティアかさい3F OALーム

出席者 委員9名：岡本昌文、河原喜久子、岡本教穂、中安恵子、藤原美穂、本玉元、小林俊広、岡章雄、大塚淑子

教委・図書館3名：高橋教育長、上坂館長、高井主幹

欠席者 山端一男

1. 開会 高井主幹が開会を伝えた。（16:00）

2. 教育長あいさつ

・委員の就任お礼

・生涯学習や市民に親しまれる図書館をめざし、蔵書資料の充実やレファレンスサービスの強化等をはかる

・学校図書館コーディネート事業、読書手帳の導入等積極的に学校図書館との連携を図っている

・読書の持つ効果効用を学校教育、社会教育、まちづくりに活かすことが加西市の発展につながる

3. 委員、職員が自己紹介を行った

4. 会長・副会長選出

互選により会長に本玉委員、副会長に藤原委員を選出する。

本玉会長より、会長就任にあたりあいさつがある。

・図書館充実のため職員数と資料購入費の増を要望。

・5万人都市創生の要素として図書館の重要性がある。

5. 議事

高井主幹から、これからの議事の進行を本玉会長に依頼した。

（1）平成26年度図書館実績報告について（上坂館長説明）

委員：雑誌スポンサー制度について今後も継続であるか、時期はいつからか。

事務局：継続しており、いつからでもできる。他市では雑誌スポンサーの応募がゼロであったという新聞記事もあったが、当館では児童雑誌について匿名で8誌を出していただいている会社もある。

委員：一般の会社に宣伝して、新たな申し込みについて探してみる。

委員：団体貸出の実績はどうか。大変な苦労があるのではないか。

事務局：11,445冊であった。本年から団体貸出の配送サービスを行っているが、27年度は8月現在ですでに昨年より2000冊程度の増となっている。個人も約15,000冊増であり、計約17,000冊増えていると見込まれる。

（2）平成27年度図書館事業計画等について（上坂館長説明）

委員：学校貸出は大変ありがたい。学校としては学校図書館相談を受けながら良い学校図書館にしていきたい。

委員：以前に、県のブックモービルがあり、車が来て中で本を選んだことを覚えている。職員は大変なのは。

事務局：スタッフが力を入れてやっている。

委員：子供が2年生のときに遠足で図書館見学に行ってから図書館は面白いと言って行くようになった。見学が2校となっているが、他の小学校も図書館見学があると親しみができるてよいのではないか。

事務局：今年、西在田小学校ほかも見学にきていただき、宇仁小学校には訪問してパワーポイントで説明をしている。

委員：児童療育室では昨年と比較して貸出しが減っている。お母さんへの声掛けが足りなかったと反省しているが、破損してはいけないと遠慮をされている。本を好きな子は継続して借りているが、小さいときから読書の環境で育つことが大きくなってからの読書好きにつながる一因ではないかと思う。図書館で本を選んで届けてくれるのは大変ありがたく、年齢に応じた選書も良い貸出しの方法と考える。

委員：宇仁小学校では、図書室にある本より図書館からもってきた本にとびついたというお話を聞いた。播磨東地区学校図書館研究大会の分科会で、他市の方から、図書館が選書して届けてくれるということをうらやましがられていた。そのときの助言で図書室と市立図書館の連携をどのように発展させるかが今後の課題で、貸出数を重視するか貸出しの質を重視するかという問題があった。学校図書館だけでなく市立図書館では選書が難しい課題であると思った。また、養老孟司先生の講演会に行ったが、中学生から沢山の質問があり、生徒のどういう本を読んだらいいかわからないという質問に、自分の好みの本に出会えるために沢山の本を読みなさいと助言をされていた。良い本を押し付けるのがいいのか、自分たちが選んでいって最終的にこの本に出会うのか、図書館員や先生が苦心するところだろうと思った。

事務局：養老孟司先生の話は難しくはなかったか。

委員：中学生を対象とすると難しいと感じる生徒もいたかもしれないが、変えることができることを強調されたのは心を動かされるものがあった。

委員：さきほど出ていた「貸出しの質」とはどういうことか。

事務局：賛否両論の意見があるライトノベルズも団体貸出しで持っていつているが、あくまでも本へのきっかけと考えている。先生方からそこから入るのもひとつの方法かという意見ももらっている。名作とともにライトノベルズも含めながら、こちらを向いてもらうことに腐心したい。図書館員に何でも相談できる関係も作りながら、イベントを企画して図書館に向いてもらいたい。

委員：大人目から見て貸出しの質を重視すると貸出し数は減る、ジャンルを幅広くすると貸出し数は増えるということで、難しいところだと思う。

事務局：持っていくと子供たち同士で本のおすすめをしており、本が嫌いではなく、時間がとれないのだと思う。中学校では専属の先生がいなため、学校の図書室があいているのはお昼休みの15分だけで、本の機会提供ではどうかと考える。学校図書館司書を図書館コーディネーター事業の中で入っていき、一日開放することができないか学校教育課と話し合っているところではある。

委員：「朝読」はだんだんと基礎学習に変わりつつあるというのはどうなのか。

委員：どこの学校でもされているが毎週設定しており、「ぶらんこ」さんに依頼して毎週学年ご

とに読み聞かせをしていただいている。本を読むのが最近増えてきていると思うのは朝読、読み聞かせや家で行う親子読書などの、読書活動を推進するための活動をしている。教育フォーラムでも、論理的思考やイメージ力が高まるなど5つの効果があると言われていた

委員：学校の読み聞かせに地域の方が入っていることもあるのか。

委員：読書ボランティアが行っていると聞いたことがある。目新しいと子供たちはとびつき、北条東小学校では違う学年の先生が読み聞かせを行っていると聞いている。

(3) 播磨圏域連携中枢都市圏（姫路市他）及び定住自立圏図書館（北播磨）相互利用について（上坂館長説明）

事務局：播磨圏域連携中枢都市圏では姫路市を中心に各市町が連携して行政サービスを行っているというもので、図書館では11月1日から当該地区内のすべての公共図書館で貸出しができるようになる。加西市立図書館ではすでに利用できるようにしているが、西播磨の市町では今まで当該市町の住民のみの利用であったものが播磨圏域連携中枢都市圏域で利用できるようになるというものである。

定住自立圏図書館（北播磨）相互利用では、北播磨3市1町（加西市、西脇市、加東市、多可町）の図書館で借りた本についてはどこの図書館でも返却できるというサービスが始まるというものである。

会長：返却はどこで行ってもいいというのはいつからか。

事務局：西脇市の図書館が10月末にオープンするので、その後に調整をして来年1月から4市町どこの図書館でも返却できるというサービスが始まる予定である。

委員：加西市の図書館のカードで借りるのか。

事務局：借りるのは各図書館に登録してもらい、返却がどこでもできるということである。

委員：便利になるが、それだけ人員が必要になるのか。職員もいるのか。

事務局：どれだけ返却があるかわからない。西脇の図書館を中心にして曜日を決めて西脇の図書館に持っていき、仕分けをして加西市の本を持って帰るということ。12月補正でシルバー人材センターにお願いしようかと考えている。

委員：ネット検索で加西市立図書館で蔵書にあつてここにはないことがあるのか。

事務局：他市で借りて加西市に返したら貸出中には変わらないが利用者の手からは離れている状態で、当該館に返して始めて返却になるということである。蔵書を4市町で回せるということで、あいている図書館から回したらどうかという話も出ている。

(4) その他

事務局：2015年図書館まつりを10月25日に開催する。雑誌リサイクルフェアやアロマセラピー体験、弦楽クラシックトリオの大三弦による演奏会、花の苗プレゼントなどを行う。

子ども読書活動推進計画についてはご覧いただきたい。

また、今年度4月から掲載された新聞記事のコピーをつけている。そのなかで「絶歌」の取り扱いについて報告をする。教育長からも購入を見送るよう指示もあり、購入見送り

としている。小野市、多可町は購入しているが阪神地域では購入見送りの図書館が多いと聞いている。

委員：「火花」を検索したら、貸出数が6冊で予約数が118件とありました。図書館のホームページで、話題本を読み終わった方の寄贈のお願いの一文が最近消してあるが方針が変わったのか。

事務局：ホームページは消していないと思う。「火花」については雑誌「文芸春秋」に掲載されているので予約の方に電話で確認をして希望者に回している。

委員：図書館の選定基準があるが、読み終わった本の寄贈についてはどのように考えているか。

事務局：予約が7冊を超えれば1冊、AVは20点を超えると1点ずつ増やすこととしており、それ以外については読み終わった方に寄贈をいただくようにしている。市民に支援いただくのも悪くないのではないかと考える。

委員：「火花」の掲載されている「文芸春秋」を読み終えたら寄贈したいと思う。

委員：委員としての役割があれば教えてほしい。

事務局：図書館に来ていただき、スタッフに声かけをしたり、委員の目線から見ての助言をいただきたい。また、行事の案内を送るので、できる範囲で参加いただきたい。

6. 連絡事項

次回開催は、平成28年3月下旬の予定で了承を得た。

7. 閉会 藤原副会長が閉会の挨拶をした。

委員は図書館の応援団であると思う。図書館が活性化していくよう努めていきたい。

(17:30 終了)